
俺は不幸だ

斉藤劉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺は不幸だ

【Nコード】

N4903R

【作者名】

斉藤劉

【あらすじ】

これはアズサが不幸について考えたお話

(前書き)

さあ、不幸について考えてみよう

『俺は不幸だ』

なんて自己中な妄想を俺はしない。
不幸な人間はそうそういない。
不幸だと思うのは自分の行いが悪いだけだ。つまりは自業自得。
不幸だと思ふのならいい事をすればいい。
いい事をすればいい事だっておきるといふ事だ。

『俺は不幸だ』

なんて自己中な妄想を俺はしない。
不幸なのは幸せがあったからだ。
不幸と幸せは一人一人に50と50で与えられる。つまりは同じ分。
幸せを先に選ぶか不幸を先に選ぶ。
それは自分自身が選ぶ事だ。

『俺は不幸だ』

なんて自己中な妄想を俺はしない。
俺が不幸ならば他の人が幸せだからだ。
幸せと不幸はこの世に一定の量しか存在しない。つまりは早い者
勝ち。

幸せを奪い取ればいい。

それ為に人を陥おとしればいい事だ。

さあ、貴方はどれを選ぶ？

いい事をするか

順番を選ぶか

陥れるか

選ぶのはあなた自身。

どれを信じるも貴方自身。

全ては貴方自身にかかっている。

それは貴方の事なのだから自由にしたらいい。

誰もそれを止めはしない。

止められはしないのだから。

(後書き)

考えは他にもあるだろう

それを選ぶもまた貴方。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4903r/>

俺は不幸だ

2011年10月8日18時09分発行